

平成 31 年度公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館事業計画書

基本方針

当年度よりあらためて鳥取県からは鳥取県立童謡館を、鳥取市からは鳥取世界おもちゃ館を、それぞれ平成 31 年度から平成 35 年度までの指定管理者として、5 年間の管理運営を任されました。県や市と協力しながら、童謡・唱歌とおもちゃのミュージアムとして利用促進を図り、特色ある地域文化の発展に全力を尽くします。

財団の基本理念としては、公益法人としての責務である不特定多数の利益の増進を法人の原則的な行動指針としております。広く門戸の開かれた“うた”と“おもちゃ”の文化事業を提供することを通して、財団の目的である童謡とおもちゃをテーマとした特色ある地域文化の発展に尽くしていきたいと考えています。

わらべ館の運営に際しては、館のキャッチフレーズである「すべての子どもたちと子どもの心を忘れないすべての大人たちのために」を基に、次の 3 点を運営の柱として、利用者に愛され親しまれる施設となるよう全力で取り組みます。

- ・「童謡・唱歌とおもちゃ」をテーマとしたミュージアム
- ・国の内外に誇りうる鳥取の重要な文化観光施設
- ・子どもから高齢者までの重要な生涯学習施設

実施事業（総事業費 1 8 1, 1 7 1 千円）

法人の目的を達成するため、指定管理者としてわらべ館の管理運営を行うとともに、次の事業を実施します。

1. 童謡唱歌に関する事業（公益目的事業 1 事業費 8 4, 8 6 5 千円）

(1) 童謡唱歌体験事業

童謡唱歌に親しむ機会を提供するため、実際に童謡唱歌を歌ったり聴いたりすることの出来る体験活動を実施します。童謡館で定期、臨時の唱歌教室を開催するほか、希望する団体や施設を募り、現地に出向いてのコンサートを実施するなどして、童謡唱歌の普及と愛好者人口の拡大に努めます。家庭でも唱歌にも親しんでいただくことを目的として、わらべ館のオリジナル唱歌集（一冊 200 円）を販売します。

当年度からの取り組みとしては、童謡・唱歌推進員を各地の保育園や文化ホール等に派遣して開催する童謡コンサートの実施回数を増やします（15→20 回）。また、申し込みの条件を緩和し、原則 100 名以上の来場が見込める場合でなければ申し込みできなかったものを、原則 50 名以上であれば申し込み可能としました。

童謡館の基金を取り崩して行う基金事業としては「ともしび歌声コンサート 2019～ひろげよう！うたのわ～」と題して、鳥取市民会館を会場にしたコンサートを計画しています。東京の歌声喫茶の歌手である寺谷氏を中心に、ハッピーウクレレハーモニー（鳥取市）

やベイビーブー（東京都）、久松手話コーラスや鳥取敬愛高校の音楽部をゲストに迎え、世代や地域を問わず一緒に歌う喜び、楽しさを感じられるコンサートを5月に開催します。

(2) 調査研究、資料収集事業

「童謡・唱歌のふるさと鳥取」の拠点施設として、日本の音楽教育の発展に大きな役割を果たした鳥取県出身の三人の音楽家、岡野貞一・田村虎蔵・永井幸次の業績を顕彰し、関連資料の収集を行います。また併せて、本県ゆかりの音楽家や童謡全般に係る資料収集を行い、専門員による調査研究を進めます。

(3) 展示事業

岡野貞一ら鳥取県出身の音楽家の業績を顕彰するとともに、童謡唱歌に対する興味関心を広く一般に喚起するため、常設展のほかテーマを定めた企画展を童謡館で開催します。展示には専門員による調査研究、資料収集の成果を反映し、わらべ館の入館料のみで広く一般に公開します。

2. おもちゃに関する事業（公益目的事業2 事業費87,596千円）

(1) おもちゃ文化体験事業

おもちゃに親しみ、おもちゃ文化に触れる機会を提供するため、工作や遊びなどの体験型事業を実施します。鳥取世界おもちゃ館を拠点として、おもちゃを使った工作や遊びなどの体験活動を提供するほか、壊れたおもちゃの修理など様々なアプローチにより、楽しみながら学べる環境の実現を目指します。おもちゃづくり体験で販売する工作キットやその他材料代等の徴収に際しては、低廉な価格に設定し、多くの方に参加していただけるよう工夫します。また、手軽に遊べる日本の伝統玩具を紹介するため、逆立ちこまを300円で販売します。

おもちゃ館基金を使った基金事業は、体験事業の「鳥取・世界おもちゃ博30周年記念事業」と、特別展示の「動きと音を楽しむ 樋口一成 木のおもちゃ展」の2本を計画しています。7月下旬～8月上旬にかけて開催するおもちゃ博記念事業については、現代の木のおもちゃ作家の作品を展示し、遊びながら作品の意図を感じられる体験の機会とします。期間中の休日にはワークショップやパフォーマンス等を開催し、おもちゃと遊びの奥行きを知る契機を提供します。

(2) 調査研究、資料収集事業

鳥取世界おもちゃ館の展示の充実を図るため、鳥取県の郷土玩具や資料的価値のあるおもちゃを収集するとともに、専門員による調査研究を行います。県東部だけでなく近隣のおもちゃ作家とも連携しながら、地域性のある特徴的なおもちゃの収集に力を入れます。

(3) 展示事業

「'89鳥取・世界おもちゃ博覧会」を顕彰するとともに、当時の収集資料を活用するた

め財団が新たに収集した資料も交えて、鳥取世界おもちゃ館において常設展やテーマを定めた企画展を開催します。展示には専門員による調査研究、資料収集の成果を反映し、わらべ館の入館料のみで広く一般に公開します。

基金事業である「樋口一成 木のおもちゃ展」では、動きや音をテーマとした大型の木工作を手掛ける樋口氏の作品をいべんとほーる等で展示し、子どもから大人まで知覚を使って楽しめる特別展を開催します。

3. 法人管理事業（管理事業 事業費 8,710千円）

(1) 財団管理事業

公益法人として関係諸法令に則り、透明性のある法人運営を行うとともに、人材育成に力を入れ職員の知識、技量の向上を図ります。